

【研修報告】 B-3 発達障害児の言語発達支援 (講師:西野 章子)

◆言語発達の基礎

言語獲得のピラミッド



発語に必要なレディネス

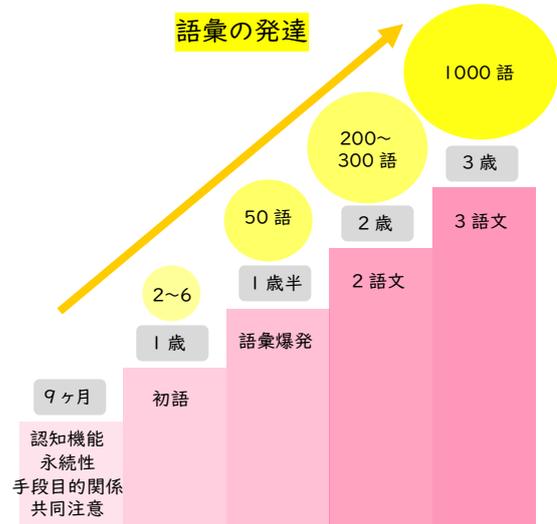
- ・基本的認知: 見える、聞こえる
- ・喃語: 発声できる
- ・三項関係: 共感性
- ・アイコンタクト: コミュニケーション
- ・象徴機能 (見立て遊び): 記憶、意味を結び付ける力
- ・ターンテイキング: やり取り
- ・身近な名詞: オノマトペの理解: 知的機能

三項関係

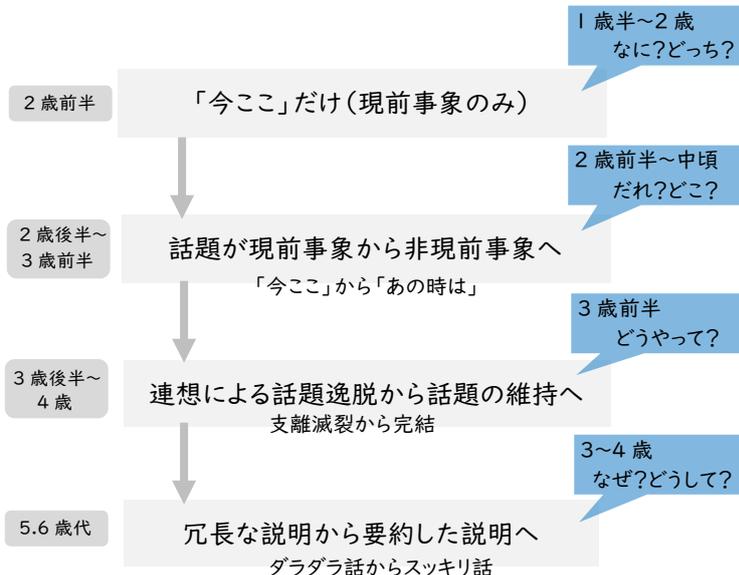
一つの事象を指差しやアイコンタクト、眼差しによって共有する

- ・自発の指差し (11ヶ月頃)
自分が見つけたものを指す: 「(これなんだろう)」
- ・要求の指差し (1歳頃)
欲しいものを指す: 「(とって)」
- ・共感の指差し (1歳過ぎ)
見て!の思いを込めて指す: 「ほら!」
- ・応答の指差し (1歳半頃)
○○はどこ?で指す: 「○○ならこれだよ」

語彙の発達



会話の発達



学齢期は様々な言葉の力が求められる

- 例) ・口頭で説明される内容を理解する
- ・文字を介した学習
 - ・教科書やテストの内容を読んで理解する
 - ・日常では使わない漢字熟語
- …など。